２０１８年　歴教協　京都大会　第２１分科会「障がい児教育」レポート

「障がいを持つ子どもにとっての『社会認識』とは何かを考え、それを育てるステップ表」を作成するする試み（３）
―「社会認識を育てる授業実践を整理する試み―」

埼玉県和光市にある NPO 法人ポコ・ア・ポコの障がい児デイサービス「ぽこの実」スタッフ
土田謙次
２０１８（H29）年７月２６日作成

第１部　はじめに（自己紹介）

・私は、１６年間中学校社会科の教師を勤めた後、肢体不自由養護学校２校に１３年間、知的障害養護学校も２校に９年勤務して、昨年２０１６（H28）年３月に定年退職を迎えた後、１年間知的障害校に再任用として週３日間勤務していた。しかしその時に「てんかん発作」を発症してしまい、今年の４月からは、自宅療養をしている身である。

・ただ、保護者の依頼もあり、週１日だけ埼玉県和光市にある NPO 法人ポコ・ア・ポコの障がい児デイサービス「ぽこの実」でスタッフとして働いている。

第２部

１、テーマ設定の理由

私は元は中学校社会科の教員であり、養護学校（現在は特別支援学校）に転勤してからも、社会科を教えたいという気持ちをずっと持ち続けてきた。一方で、特別支援学校では、肢体不自由校の一般学級や知的障害校の高等部の学力の高い生徒達のグループを除いては、「社会科」という教科は教育課程の中に位置づけられていないのが現実である。それは、能力的に理解が難しいということや、必要がないといった理由からと思われる。

それに対して、埼玉県川口市立鳩ケ谷中学校の障がい児学級担任だった小林幸雄先生は、２０１１年の歴教協福岡大会のレポートで、「障害者の教育に『社会科』を」と題して、次のように述べている。「…日本国憲法の人権・国民主権・平和を教育の基本におき、そこから社会認識の課題を教育課程に設定することが必至である…」

そして私も、特別支援学校においても、それ（社会科＝社会認識の教育）は必要であると考えて、実践してきた。

一方私は、現在は週 1 日を除いては、自宅療養で家にいる身である。そこでその時間を利用して、今まで２３年間の特別支援学校勤務の中で行ってきた「社会科的内容＝社会認識の教育」を整理して振り返るとともに、その実践を、埼玉県の歴教協の先輩である小林先生や宮城の髙橋誠先生の「社会認識の教育」に関する提言を基に、評価・反省したいと思い、このレポートを書いたものである。そして昨年、一昨年は、その１回目、２回目として以下の様な内容のレポートを書いた。

２、レポートの内容・構成

◎２０１６年（１回目）

（１）今まで自分が養護学校で実践した社会科的内容を一覧表にして整理する。
（２）小林先生、髙橋先生の「社会認識の教育」に関する提言を自分なりに整理したもの
（３）特別支援学校においても、それ（社会科＝社会認識の教育）は必要であると考えた理由

◎２０１７年（２回目）

（１）今まで自分が養護学校で実践した社会科的内容を一覧表にして整理する。
→再度、自分の実践について、評価をしてみた。
＊資料①一覧表「今まで自分が特別支援学校で実践した社会科的内容を整理したもの
の赤字部分参照。
（２）小林先生、髙橋先生の「社会認識の教育」に関する提言を自分なりに整理したもの
→＊**資料②「障がいを持つ子どもにとっての「社会認識」とは何か？」**参照。
→この資料から考えたことは、「３」のレポート本文を見よ。
→＊**資料③「社会認識を育てるステップ表（素案）」**参照。
（３）今までに自分が参加した歴教協大会（０９年～１７年）の「障がい児教育分科会」のレポートの一覧を作成し、その中から資料③に入れられるものを整理してみた。
→＊**資料④「歴教協「障がい児教育分科会」レポート一覧（０９年～１７年）」**参照。

◎２０１８年（３回目）

・そして、今回は３回目であり、最終回として、以下のような作業を行った。
　２回のレポート書く中で一番大変だったのは、まずこのことについて書かれた（先行研究の）本がなく、論文等も見つけられなかったこと。また４つの資料作りの中で、資料③の「社会認識を育てるステップ表（素案）」の作成に一番苦労した。それは、「社会認識を育てるステップは何となくわかったけれど、具体的にはどんな授業をすればいいの？」という疑問に答えることであった。
　それに対して私にできたことは「テーマ毎にこんなレポートがあるよ」と示したのであるが、「では、それらのレポートはどこで見られるの？」と聞かれたら「私に聞いてもらえればコピーしてあげますよ」か、または「歴教協の本部に行って聞いてみてください」としか言えなかった。そして、それはいずれも現実的ではなかった。
　そこで最終回の今回、それを補うために私が考えたのは、そこに載せた全てのレポートを私が読み込んでダイジェスト版を作ることであった。しかし、正直言って５０本以上のレポートを全て読み込むことはできず、結果的にできたのは、「１、「前社会科」段階＝「自己認識」「他者認識」」「２、「社会力」を身につける学習」「３、地域学習」という比較的わかりやすい３つの区分の代表的なレポートを選択して、そのダイジェスト版を作ることであった。

３、レポート本文

→別紙「社会認識を育てる具体的な授業例」参照。

４、みなさんに伺いたい点

　昨年と同じですが、資料②③について、どう思われるか？　特に資料③の「ステップ表」の上の項目がこれでよいのか悩んでいます。まだまだ不十分なものなので、皆さんの率直な意見を伺って、完成させたいと思っています。